

**製品名: CIB1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80555**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	21.7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CIB1
別名	CIB; KIP; KIP1; SIP2-28
遺伝子 ID	10519.0
SwissProt ID	Q99828
免疫原	大腸菌で発現した CIB1 の精製された組み換え断片。

**背景**

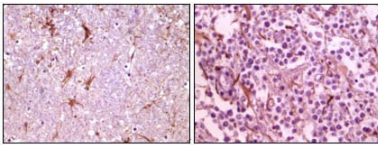
CIB1 (カルシウム・インテグリン結合 1 またはカルミリンとも呼ばれる) は、191 個のアミノ酸 (約 21kDa) からなるカルシウム結合タンパク質ファミリーに属します。CIB1 は DNA 依存性タンパク質キナーゼと相互作用することが知られており、DNA 末端結合に

おけるキナーゼ-ホスファターゼ調節に関与している可能性があります。CIB1はEFハンドを含むタンパク質で、血小板 $\alpha(\text{IIb})\beta(3)$ インテグリンやいくつかのセリン/スレオニンキナーゼなど、複数のエフェクタータンパク質に結合し、それらの機能を調節する可能性があります。CIB1は、血小板インテグリン $\alpha(\text{IIb})\beta(3)$ の $\alpha(\text{IIb})$ 細胞質ドメインとの特異的な相互作用を介して、止血における血小板凝集を制御します。CIB1はまた、InsP3Rの活性化および阻害タンパク質リガンドとして普遍的に発現しています。

## 研究分野

アポトーシス

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト視床（左）および神経膠腫（右）組織の免疫組織化学分析。CIB1マウス mAb と DAB 染色を使用して膜の局在を示しています。